



本村幼稚園 6月の園だより



平成28年5月31日 港区立本村幼稚園長 黒田 泰正

子どもを育てる喜び

園長 黒田 泰正

子どもたちが、楽しみにしている、「幼小合同運動会」は、6月4日（土）に開催されます。あと4日ですが、晴天でしかも暑さがほどほどの日になるように祈っています。

はと組も、りす組もいっしょに広い校庭で、ダンス「ドラネコロックンロール」と、かけっこ「よーいドン」を披露します。楽しんで元気にやってほしいと願います。

ダンスの練習中には、はと組が躍る姿をりす組が真似したり、一緒に加わったりして、学年を超えての連帯感を感じる一幕もありました。幼稚園は、少しだけの参加ですが保護者の皆様も楽しみにしててください。

さて、5月11日（水）には「親子遠足」がありました。子どもたちは、保護者の皆様と共に、有栖川公園に出かけました。私は出張のため参加できずに申し訳ありませんでした。先生方がゲームの準備をしてくれて、親子共々お楽しみいただけましたと思います。雨上がりで、風も強い日で、予定を短縮しましたが、緑がきれいな中でお弁当を食べたことは、思い出になったと思います。6月13日（月）には2回目の遠足として、品川水族館に行きます。今から楽しみです。

さて、幼稚園に慣れてきたりす組の子たちも好きな遊びの時間には、園庭にたくさん出てくるようになりました。園庭の隅この花壇やプランターには、キュウリ、ズッキーニ、トマト、ピーマン、ナス、オクラ、そしてインゲンの苗が植えられています。先生方といっしょに何人かの子が植えていました。もうかなり大きくなったものもあります。「うわー、かわいい」「カマキリの子見つけたよ」「見せて、見せて」と友達同士話し合っているのがまた、かわいいものです。

幼児期に自然との触れ合いをたくさんすることが、子どもの豊かな心、優しい心の成長につながると思います。木や草などの植物、虫や生き物など、自然は心の安らぎをもたらしてくれます。これからも、自然との触れ合いを大切にしながら子どもたちの創造力や感性を育てていきたいと思っています。

子どもを育てる喜びの一つは、自分が忘れていた幼児の時代、子どもの時代を追体験できることだと思います。「そういえば、私も石をたくさん拾って集めたなあ」「虫をたくさんとって、いつまでも見ていたなあ」「水たまりに入って遊んだなあ」と子どもたちの動きを見てよく自分の過去を思い出すものです。私も虫が大好きで、バッタやカブトムシやトンボに夢中でした。（今もけっこうそうですが）子どもと過ごす時間は、過ぎれば二度と戻りません。私は自分の子育てをしているときには忙しさばかりで余裕がなくその時間の尊さがわからなまったかもしれません。後になってしみじみと懐かしく思い出しています。一緒にふざけあったこと、一緒に見た景色、いっしょに旅行に出かけた事などが幼稚園の子どもたちを見ていると不思議によみがえります。子どもたちをよくわかってあげて、出来た事、見つけたものを伝えてきたらいっしょに感動してあげてください。子どもたちも嬉しくなると思います。

6月は、梅雨に入るとは思います。登園・降園のお世話をよろしく願います。

